

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34102	図書館サービス概論 Introduction to Library Services	江良 友子	専門	2	選択	1・2年前期
<b>科目の概要</b>						
図書館サービスは、図書館の機能を具現化し、実践する活動である。生涯学習社会、高度情報化社会における図書館サービスはどうあるべきかを念頭に置きながら、その理念と歴史、理論と実際、現状と課題について学習する。 図書館サービスについて学ぶ中で、真心・努力・感謝の精神をもって人と接することの必要性を知る。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 図書館サービスの意義について学習する ② 様々な図書館サービスについて学ぶ ③ 図書館サービスに伴う課題や問題点について学ぶ ④ 利用者に対する接遇・コミュニケーションについて学ぶ ⑤ 利用対象に応じたサービスの種類とその重要性について学ぶ			① 図書館サービスの意義を知り、理解することができる ② 図書館にはどのようなサービスがあるか、各種サービスを知り、理解することができる ③ 図書館サービスが直面している課題や問題点を知ることができる ④ 利用者に対する接遇やコミュニケーション技術を知ることができる ⑤ 利用対象別サービスの種類とその重要性を言うことができる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に 踏み 出す 力	主体性	図書館サービスについて理解を深めるために、自ら進んで図書館へ足を運ぶことができる。				
	働きかけ力					
考 え 抜 く 力	実行力	決められた期日までに手順や方法を考えてレポート作成ができる。				
	課題発見力	自分の知識のみに捉われることなく、様々な情報を入手して、客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
チ ム で 働 く 力	計画力					
	創造力	学んだことを活かして、図書館サービスについて考えることができる。				
	発信力	基本を踏まえたレポート作成ができている。				
	傾聴力	人の話に耳を傾け、アドバイス・質問・感想を言うことができる。				
	柔軟性					
チ ム で 働 く 力	状況把握力					
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:「図書館情報学基礎資料」2016年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,080円 講義用レジュメおよび追加資料を配付する。必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。 参考文献:授業の中で紹介する。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:図書館に関する科目全て 資格との関連:図書館司書						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
図書館に関する各種報道に注意するとともに、図書館に関係する様々な本や雑誌を読むこと。 実際に図書館をよく利用すること。 図書館に対する興味、関心を広げると授業が興味深くなる。			遅刻・早退は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須です。必ず指定された期限までに提出すること。期日に遅れた場合は受け取らない。 授業の中で図書館見学(県立・専門)を予定しているが、交通費は自己負担とする。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	60	①	✓	レポート①: 専門図書館見学から学んだこと 1500 字以上 (30 点)
		②	✓	レポート②: 県立図書館見学から学んだこと(県立図書館の役割を中心に) 1500 字以上 (30 点)
		③	✓	評価のポイント
		④	✓	(表記・表現等)
		⑤	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字数制限が守られている。</li> <li>・誤字脱字がなく、正しい文章表現を用いている。</li> <li>・口語やくだけた表現をしていない。「です・ます調」ではなく、「だ・である調」を用いている。</li> <li>・段落はじめの1字下げなど基本的なルールとレポートの基本書式を守っている。</li> <li>・情報源は信頼のおける適切なものを使用している。引用・参考文献を記載できている。(内容)</li> <li>・テーマに合致した内容となっている。</li> <li>・根拠をもとに、自分の考えを明確に述べている。</li> <li>・自分の述べたいことを、筋道立てて論理的に述べている。</li> <li>・意味の通らない文章がなく、論旨が明快である。</li> <li>・内容に説得力があり、読み手を納得させられる内容である。</li> </ul>
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 自主的に図書館へ行っている。
		②	✓	(実行力) 決められた期日までにレポートを提出できる。
		③	✓	(課題発見力) 図書館界で問題となっている課題を知ることができる。
		④	✓	(創造力) 自分が理想だと感じる図書館サービスをイメージすることができる。
		⑤	✓	(発信力) 規定条件に合致したレポートを提出できる。 (傾聴力) 授業及び、図書館見学先で説明を受ける際、メモを取るなどして真摯な態度で臨むことができる。 (規律性) 期限までに提出物を出すことができる。 ※上記の7項目は各項目に合致したそれぞれの回で評価する。
その他	30	①		講義毎に全10回(予定)、様々な図書館について調べて提出する。
		②	✓	(3 点×10 回)
		③	✓	1 点→インターネット情報をそのまま記入
		④	✓	2 点→インターネット情報のみであるが、わかりやすく整理されている。
		⑤	✓	3 点→インターネット情報のみでなく、各種資料を使用してわかりやすく整理されている。
総合評価 割合	100			レポート、学修態度、その他(課題)の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
<p>S(秀)評価            評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が 54 点以上である            学修態度の7項目全て達成できている。            その他(図書館サービスの特徴を調べる課題)の評価の総計が 27 点以上である。</p> <p>A(優)評価            評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が 48 点以上である。            学修態度の7項目が 6 項目以上達成できている。            その他(図書館サービスの特徴を調べる課題)の評価の総計が 24 点以上である。</p>	<p>B(良)評価            評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が 42 点以上である。            学修態度の7項目が 5 項目以上達成できている。            その他(図書館サービスの特徴を調べる課題)の評価の総計が 21 点以上である。</p> <p>C(可)評価            評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が 36 点以上である。            学修態度の7項目が 4 項目以上達成できている、或は、達成までには至らないがよく努力している。            その他(図書館サービスの特徴を調べる課題)の評価の総計が 18 点以上である。</p>



週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	図書館サービスの意義と理念 図書館のサービスの意義・目的とそれを支える理念について学ぶ	講義 発表	これまで利用してきた学校図書館、公共図書館について、サービス内容や利用しやすさ、居心地などについてわかりやすく発表することができる 図書館のサービスの意義・目的とそれを支える理念を知ることができた	(第1週予習) 自分がこれまで利用してきた学校図書館、公共図書館についてサービス内容や利用しやすさ、居心地などについて2分程度で話せるようにしておく (復習) 図書館サービスの意義と目的をノートにまとめる (予習) ランガナタンの図書館学の五法則を読み、各法則の意味を考えノートにまとめる	60	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	図書館サービスの要素と機能 図書館サービスを形作る要素とサービスの機能について学ぶ	講義 発表	図書館サービス内容について知り、各機能を理解する	(課題) 岐阜市立図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する (復習) 直接サービスと間接サービスについて、例をあげて説明をノートに書く (予習) 『中小都市における公共図書館の運営』(通称『中小レポート』)(1963年)を読む	180	規律性 傾聴力 創造力
3週 /	公共図書館サービスの歴史 日本における公共図書館サービスの変遷について学ぶ 「映像で見る戦後図書館のあゆみ」	講義 発表 ビデオ視聴	課題発表ができる 日本の公共図書館サービスの歴史を理解することができる	(課題) 名古屋市立図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する (復習) ビデオ「映像で見る戦後図書館のあゆみ」からわかった図書館の歴史についてノートにまとめる (予習) 公共図書館に必要な設備を調べ、ノートに書き出す	180	傾聴力 規律性 創造力
4週 /	資料提供サービス 1 資料提供サービス(閲覧・貸出・予約・リクエスト等)について学ぶ	講義 発表	課題発表ができる 閲覧・貸出・予約・リクエストについて、どのようなものか説明することができる。	(課題) 武雄市立図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する (復習) 利用者にとって使いやすい施設と図書館職員にとって働きやすい施設はどのようなものか、授業で学んだことを踏まえてノートにまとめる (予習) 公共図書館がなぜ「無料貸本屋」と揶揄されるのか、その理由を考え、発表できるようにまとめる	180	傾聴力 規律性 創造力
5週 /	資料提供サービス 2 資料提供サービス(レファレンスサービス、情報発信などについて学ぶ)について学ぶ	講義 発表	課題発表ができる レファレンスサービスにはどのようなものがあるか、説明することができる。	(課題) 国立国会図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する (復習) 貸出サービスをするうえでの注意点をまとめる (予習) 愛知学泉短期大学図書館の利用案内を入手する	180	傾聴力 規律性 創造力
6週 /	情報提供サービス 3 図書館の使い方 大学図書館	大学図書館の使い方を学ぶ	課題発表ができる 大学図書館の使い方と、利用可能なデータベースを知る	(課題) 自分が住んでいる自治体の図書館サービスについて調べ、レポートを作成する (復習) 愛知学泉短期大学の図書館を使って、使いやすい点と改善点を複数あげる (予習) 図書館の障害者サービス、高齢者サービス、多文化サービスとはどのようなものか、それぞれノートにまとめる	180	実行力 課題発見力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
7週 /	利用対象別のサービス 障がい者サービス、高齢者サービス、多文化サービスについて学ぶ 「新しい文化創造をめざして：望まれる多文化サービス」	講義 発表 DVD視聴	課題発表ができる 障がい者サービス、高齢者サービス、多文化サービスとはなにか、説明することができる	(課題) 武蔵野プレイスの図書館サービスについて調べ、レポートを作成する (復習) ビデオ「新しい文化創造をめざして：望まれる多文化サービス」を見てわかったことを1000字以内でノートにまとめる。 (予習) 図書館見学に先駆けて ・社会福祉法人名古屋ライオンハウス名古屋盲人情報文化センターのホームページをよく見て、施設の概略を知る。 ・『愛の点字図書館長』など、視覚障害者に関する本を読む ・その他関連する資料を探し、視覚障害者施設の特徴を調べる。 以上を中心に各自が視覚障害者や名古屋盲人情報文化センターについて調べ、質疑応答の中で1回は発言できるようにする	180	傾聴力 規律性 創造力
8週 /	視覚障がい者サービス 視覚障がい者サービスの実際について	図書館見学	障害者資料の種類、障害者サービスについて理解する	(見学課題) 専門図書館見学から学んだことについてレポートを作成する「視覚障害者施設と図書館サービス」(文字数1500字～上限なし) (予習) 課題解決型サービスとはどのようなものか、発表できるようにノートにまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力
9週 /	課題解決支援サービス ビジネス支援、医療健康情報、法情報サービスなどについて学ぶ 「課題解決型サービス」	講義 発表 DVD視聴 第1回レポート提出	課題発表ができる 代表的な課題解決サービスについて説明することができる	(課題) 東京都北区立中央図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する (復習) DVD「課題解決型サービス」を見てわかったことを1000字以内でノートにまとめる。 (予習) 図書館と連携可能な機関をあげ、その機関と、どのような相互協力活動ができるか発表できるようにノートに記入する	180	傾聴力 規律性 創造力
10週 /	図書館協力とネットワーク 図書館間、類縁機関、民間団体などの協力・ネットワークについて学ぶ 「広がる図書館サービスと連携」	講義 発表 DVD視聴 第1回レポートについてフィードバック	課題発表ができる 図書館の連携先について知る	(課題) 現代マンガ図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する (復習)ビデオ「広がる図書館サービスと連携」を見てわかったことを1000字以内でノートにまとめる。 (予習) 図書館見学に先駆けて、 ・図書館の設置及び運営上の望ましい基準(テキストp76-81)の都道府県立図書館について記載されている部分をよく読む。 ・愛知県図書館のホームページを見て、愛知県図書館の概略を知る。 ・『日本の図書館 統計と名簿』(日本図書館協会)を見て、他県の県立図書館と比較する。 ・その他関連する資料を探し、愛知県図書館の特徴を調べる	180	傾聴力 規律性 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
11週 /	図書館サービスの実際 公共図書館（県立図書館を予定） を見学し図書館サービスの実際を見る	図書館見学	県立図書館の役割を理解する	(見学課題) 「愛知県図書館の県立図書館としての機能と役割」(文字数 1500 字以上)について (予習) 著作権法を読む 教科書p36-46	180	主体性 傾聴力 規律性
12週 /	図書館サービスと著作権 図書館サービスの中での著作権との関係について学ぶ 「未来から来た兄妹 ～なぜ大切なの？著作権～」	講義 発表 DVD視聴 第2回レポート提出	課題発表ができる 図書館が著作権を守る意義を理解できる	(課題) 矢祭もったいない図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する (復習) 図書館が著作権を守る意義についてノートにまとめなさい (予習) 図書館の集会文化活動の目的を調べ、6点書く	180	傾聴力 規律性 創造力
13週 /	図書館の集会文化活動 図書館の講演・講座、各種行事、展示などの集会文化活動について学ぶ	講義 発表 グループワーク 第2回レポートについてフィードバック	課題発表ができる 図書館で行われている講座にはどのようなものがあるか知ることができる	(課題) 北海道置戸町立図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する (復習) 図書館で行われている講座について、授業で学んだものも含め、解説をつける (予習)これまで行った場所で、最もホスピタリティがあると思う場所をあげ、その理由を書く	180	傾聴力 規律性 創造力
14週 /	利用者に対する接遇・コミュニケーション 利用者に対する接遇・コミュニケーションについて学ぶ	講義 発表 DVD視聴	課題発表ができる 利用者への接遇方法がわかる 図書館におけるコミュニケーションの意味を理解することができる	(課題) 多摩美術大学図書館のサービスについて調べ、レポートを作成する (復習) 接遇をするうえで重要な点を7つあげ、その理由を書く (予習) 『図書館の設置及び運営上の望ましい基準の見直しについて』(2012年8月)を読む	180	傾聴力 規律性 創造力
15週 /	図書館サービスの測定と評価 図書館サービスの測定と評価の方法と考え方について学ぶ	講義 発表	課題発表ができる 図書館サービスの測定と評価の方法を理解する	(復習) これまで学んだ図書館サービスについてプリントとレポートを見て、其々の図書館の特徴的なサービスにアンダーラインを引く	300	傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

